

### 知床半島先端部地区利用の心得について

知床半島先端部地区は、極めて原始性の高い自然景観と豊かな野生生物によって形成される多様な生態系を有する地域であり、人類共通の財産として持続的な保全を図り、より良い形で後世に引き継いでいく必要がある地域です。

また、先端部地区は歩道や車道など一般の公園利用のための施設が設けられていないほか、知床森林生態系保護地域として「自然の推移に委ねる」地域とされているなど、制度上一般の利用者による積極的な利用は想定されていない地域です。

先端部地区に立ち入ろうとする利用者は、刻々と変化する海況や風況、低い海水温や高密度なヒグマの生息など、過酷な自然条件に自らの力だけで対処できる極めて高度な技術と体力及び判断力が求められ、全ての行動に自己の判断が要求され、その結果は全て自己の責任に委ねられることを十分に自覚することが求められます。

「知床半島先端部地区利用の心得」は、先端部地区の利用に関し、自然保護やリスク（危険性）の軽減の観点から留意すべき事項や禁止事項を定め、それを守っていただくことにより、先端部地区の風致景観と生態系を持続的に保全するため、知床国立公園利用適正化検討会議により合議され、平成20年1月に定められました。

